

5月 ブルゴーニュ大学 報告書

国際文化学科3年 高橋凜

フランスに来てから8か月間の生活は、本当にあっという間に過ぎました。5月はお土産を探したり、テスト勉強をしたり、旅行をしたり、部屋を片付けたり、友達を見送ったりなど、忙しく過ごしました。



まずは旅行について紹介しようと思います。祝日の関係で5連休ができたので、イタリアのローマに行ってきました。イタリアはフランスよりもずっと暑くて驚きました。知り合いの方のお家に泊まらせてもらい、たくさんの観光地を回ってきました。イタリアでも地下鉄やバス、トラムなど交通機関が充実していたのですが、有名な観光地の多くは歩いて回れる場所にあり、私も歩いて回ったのですが、とても疲れました。でも、パスタやジェラート、ピザなどローマのおいしい食べ物もたくさん食べられたし、景色や自然がとてもきれいで、留学期間中にローマに来られて良かったなと思いました。



次に最終テストについて紹介します。今までと同じ、リスニング、リーディング、ライティングのテストに加え、レベル2からは、フランスについて（シンボル、地理、祝日や歴史など）のテストもありました。テストは少し難しかったのですが、最初のころに比べると用意されている内容が確実にレベルアップしていて、成長を感じられました。テストが終わるともう授業はないので、クラスの間などもお別れになりました。自分の国に帰ってしまうとなかなか簡単には会えないのですが、たくさんの国の人と友達になれたことは本当に良い思い出になりました。また旅行するときには彼らに会いに行きたいです。

そしていよいよ帰国です。私は飛行機に乗る前にパリに2日間滞在しました。お土産を買ったりおいしいものを食べたり、最後のパリを満喫できました。しかし、フランスにいる間に服やお土産などいろいろなものを買ったので、スーツケースの重量をオーバーさせないように詰めるのが大変でした。偶然、クラスの子で同じ飛行機に乗る人がいたので、手伝ってもらいながらなんとか帰ることができました。

8か月間は本当にあっという間でした。語学が好きな私にとって、現地でその国の言語を勉強するという事は、とてもいい経験になったし、日本にいる間には得られなかった、たくさんのことを学ぶことができました。また、海外で生活するという事は、大変なこともありましたが、それらも私を成長させてくれたと思っています。

そして留学するにあたり、家族、友達、先生などたくさんの人に助けてもらい、その人たちのおかげで充実した留学生活を送ることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

もう一つ、この留学期間中に得られたこととして、将来の夢があります。フランスに来るまでは将来何をしたいのか、何に興味があるのか、自分のことが自分でもよく分かっておらず、ぼんやりしていました。しかし、この留学期間中に、就活を終えてから来た人、これから就活をする子、フランス語学科で勉強している子や日本を出て海外で生活し働いている人など、色んな人とお話をして、自分が将来何をしたいのか見つけることができました。後期からまた SUAC での授業が始まりますが、今回の留学を活かして就活もがんばっていきたいと思います。



Dijon の中心街